

議会だより

のせ

No.98

令和7年6月
2025.6



※岡本ひとし議員は所用のため、写真には写っていません。

議長挨拶・議員紹介	P2
予算常任委員会報告	P4
2月会議報告、3月定例会議報告	P7
一般質問	P11
議会構成	P14

住民の皆様とともに、 人も自然も産業も 活力あふれる町を めざしてまいります!

議 長

平 田 要

副議長

井 上 加奈子

ごあいさつ

四月二十日の能勢町議会議員選挙において、十二名の新しい議員が誕生いたしました。日頃からの住民の皆さまの声を議会に届け、町政に活かしてまいります。

さて、本町における少子高齢化、人口減少また、これらによる地域コミュニティ力の低下等、さまざまな課題が挙げられますが、議会においては活力ある町に向け、行政と議論を深め、住みたい町、住んでよかった安心・安全な町をめざしてまいります。

本会議、各委員会等は公開としておりますので、是非とも傍聴にお越しいただきますよう、ご案内申し上げます。

能勢町議会議長

平 田 要

連絡先
(☎)
072-734-0503



中植 昭彦

抱負:能勢をつなぐ力で地域の未来を共に築き、安心・安全でさらに誇れる能勢町を実現してまいります。

連絡先
(☎)
072-734-4331



川口 省子

抱負:豊かな自然を守り活かしながら、生涯暮らし続けられる能勢町をめざし、その為の様々な環境整備に全力で取り組んでまいります。

連絡先
(☎)
072-734-3311



森田 則子

抱負:小さな声に耳を傾け、現場第一主義をモットーに、笑顔と希望あふれるまちづくりに全力で取り組んでまいります。

連絡先
(☎)
072-737-0069



畠中 勝身

抱負:「安全・安心な地、能勢」地域の思いを議会に届け、安全で安心して暮らせる能勢町をめざし、全力で取り組んでまいります。

連絡先
(携帯)
090-3264-2575



岡田 康司

抱負:『未来を紡ぐ。ひとがつどい、笑顔あふれる能勢町へ』をもとに焦らず、あきらめず、行動し、実現に向けて取り組んでまいります。

連絡先
(☎)
072-734-2003
(携帯)
090-5125-5806



大西 則宏

抱負:『for 能勢』
『住むことに幸せを感じる能勢のために』みなさまの『夢 希望 声』の実現に向け、一所懸命に取り組んでまいります!

連絡先
(携帯)
090-8231-1049



中西 顕治

抱負:日本共産党の立党精神「国民の苦難の軽減に献身する」を胸に諸課題の解決を皆さんと一緒に取り組んでまいります。

連絡先
(携帯)
090-5040-1118



難波 希美子

抱負:能勢の宝である自然環境を活かし、人との繋がりを構築していくまちづくりをめざし、町政をチェックし、提案していきます。

連絡先
(☎)
072-737-1099
(携帯)
090-2103-9322



岡本 ひとし

抱負:すべての人の暮らしを守り、誰ひとり取り残さない「まちづくり」の提案と『教育・福祉の充実と人権擁護』に全力でとりくみます。

連絡先
(☎)
072-737-0768
(携帯)
090-5368-5337



平田 要

抱負:青空と緑あふれる“のせ”の未来に向け、“誰もが安心して暮らせる優しいまちづくりをめざして、初心を忘れることなく「元気、やる気、行動」で挑戦!

連絡先
(X-メール)
nosesemi@gmail.com



井上 加奈子

抱負:みんなの能勢町です。住民一人ひとりが直接関わっている町づくりです。議会と町政の動き、議員活動、全てわかりやすく発信します。

連絡先
(☎)
072-734-3516



八木 修

抱負:行政や議会は形骸化し、住民の多様な意見が反映されていません。議会に風穴を開けます。

・掲載の順序は右上段より左へ議席順で掲載しています。 ・原稿は議員の責任において作成したものです。
・連絡先は、議員個人の判断によって掲載しています。

64億9,900万円 令和7年度 能勢町一般会計予算を可決

予算常任委員会報告

予算常任委員会に付託された「令和7年度能勢町一般会計予算」について、3月11日、12日、13日、17日に委員会を開催し予算内容を審議しました。質疑の後、賛成多数で可決すべきものと決定しました。
主な質疑応答は次のとおりです。

◇令和7年度能勢町一般会計予算

賛 否										原案可決
平田 要	井上加奈子	難波希美子	長尾 義和	西河 巧	岡本ひとし	中西 顕治	中植 昭彦	奥 久明	太田 祐介	森田 則子
○	○	×	○	○	○	○	○	欠席	○	委員長

注:委員長は採決に加わりません。

総務部 (総務課・理財課・住民課)、出納室、議会事務局

問 職員研修事業について、人材育成はどのような方針で行われるか。また、管理職に向けた外部での研修は検討しているか。

答 能勢町人材育成基本方針を10年ぶりに改定し、「住民に信頼され、自ら課題解決に向けて積極的に行動できる職員」を理念とし、個々の適性や職階に応じた研修を行う。また、北摂7市3町で実施されている共同研修への参加を検討する。

問 ふるさと応援寄附金の予算規模が昨年度から半分に減っている。対策は考えているのか。ブランディングについて「寄附者も含む関係人口」とあるが新たなターゲットとは何をさすのか。

答 現状、専任の職員を配置することは難しい。また、機構改革での魅力創造課との関わり方も検討していきたい。関係人口については、地域の祭り、物産センター、町内の店舗や施設に繰り返し来る人を対象と考えている。

問 交通対策事業について、目標と実態に乖離があるがどのように対応していくのか。また、広報で自家用車との経済的な比較を示す必要があるのではないか。

答 1日の目標が25人、現状9.7人でかなり厳しいが、運行区域の拡大や、停留所を増やすことで利用者の増加に努めたい。これまでも継続的に情報発信を行ってきたが、自家用車を維持する場合との経済的な比較はできていないので今後検討する。

問 男女共同参画プラン策定事業について、計画にある女性の職域の拡大や積極的な登用が目標値に達していないこと、セクシャルハラスメントの啓発活動が取り組まれていないことについて問う。

答 女性の職域の拡大、積極的な登用については、特定事業主行動計画で目標値を定めており、女性役職者の割合の向上に努めていきたい。セクシャルハラスメントについては、職員研修のテーマとして意識の啓発に努めていく。

福祉部 (福祉課・健康づくり課)

問 保健福祉センターの改修工事の内容と業務への影響を問う。

答 屋根や外壁の改修と空調機の入替を予定している。窓口業務は開設したまま行うが、貸室の一時停止が見込まれる。工期は約半年間で12月に完了予定である。

問 放課後児童クラブ事業が17名の定員超えになっているがどのように対処するのか。

答 場所の確保、支援員の確保をして70人定員という条例を変更していけるよう、他部署と協議して進めていく。

問 「のせけん」報告会の内容を問う。

答 産学官連携事業「能勢町健康長寿研究」の5年間の研究成果の報告と著名人の講演などを来年3月頃に1日だけのイベントとして行う予定である。

問 健康づくり支援事業を行うために国民健康保険(国保)特別会計からの繰入や後期高齢者医療(後期)特別会計から受託収入を使う経緯を問う。

答 健康長寿のために続けていかねばならない事業と認識している。対象者の8割が国保・後期加入者であり、国保のヘルスアップ事業の交付金や後期の健康長寿事業受託金の活用は、住民課、理財課と協議した結果、今回の予算編成となった。

産業建設部 (地域振興課・地域整備課)

問 新たな産業誘致に向けて市街化調整区域の宿野四区、大里区、柏原区に係る農地等を対象として取り組まれているが、令和7年度の事業予算と今後の事業予定を問う。

答 事業化を進めるための計画策定に必要な調査及び検討を行う。
調査費用については対象区域と、その周辺の測量を実施し、現状の把握と基本計画の策定に必要な基礎資料を作成する。
検討費用については、産業環境整備、交通安全の確保、災害の予防、市街地整備などの検討を進めて行きたい。まちづくり協議会設立後10年をめざして事業を進めていきたい。

問 観光物産センターの基本構想はどのようなもので、令和7年度に基本構想から新たな方向性を決めるにあたり考え方を問う。

答 基本構想は、既存施設の有効利用と場所を移しての新設に分けられている。ソフト面の課題も多くあり、いつまでに方針を決定するかは答えにくい。

問 乳児用のごみ処理券の無料分について、これまでの2歳未満を拡充されるか問う。また、高齢の方にとっては45ℓ袋では重量の負担が大きいため、20ℓ袋用のごみ処理券が出来ないか問う。

答 以前から年齢の引上げの意見があり、保育所等に現状を聞き、3歳児でもおもむつを使用されている方が一定数いることから、3歳未満が利用できる事業に変更したいと考えている。
また、高齢世帯の様々な事情について、担当窓口にご相談があれば対応を検討していく。

問 農空間整備調査研究事業で、農空間の保全及び農業の振興を図るため新しい組織形態をめざすものと示されているが、考えを問う。また、支援について問う。

答 高齢化により農空間を保全していくには担い手が不足している。各地域で法人化に向け進めていきたい。3人でも法人化が可能であり、地域で農地を守ることができる規模を考えている。また、組織を立ち上げるために町の地域農業再生協議会が携わる。

教育委員会 (学校教育・生涯教育)

問 子ども支援対策・不登校対策について、不登校支援(ステップ教室・Charging)の取組みが評価されているが、その要因と課題は何か。

答 ささゆり学園と教育委員会の連携に加え、スクールカウンセラーやソーシャルワーカーなど専門家の関与が効果を上げている。卒業後のフォローは現状課題で、特に町外進学者の情報把握は難しい点がある。

問 学校給食の無償化と食材確保にあたり、物価高騰の影響により給食の質が落ちる心配がある。米の安定供給、食材の地産地消への対応も含め、現状について問う。

答 給食の素材や仕入れ方法は、これまでと変更はない。物価高騰で食材の単価が上がれば、補正予算を考える。また、令和7年産の米の確保は、大阪北部農協と早めに調整する。
エコ農産物の導入については、令和7年度から関係機関と連携しながら検討を進める。

問 GIGAスクール2期により児童生徒用のタブレットが更新されるが、共同調達の条件について問う。

答 国の基準により児童生徒1人1台の配備が必須で、端末は自治体単位で統一され、学年ごとに機種を変えることはできない。前回の端末はスペック不足等の不具合があり、その反省を活かして選定する。

問 新生涯学習施設の整備について問う。

答 旧久佐々小学校体育館を活用し、新しい生涯学習施設を整備する。住民の意見を聞くため、ワークショップを複数回開催し、18か月をかけて基本構想・計画の策定を進める。

問 劣化診断の結果について問う。

答 躯体の構造耐力、コンクリート強度は、問題ないとの結果であったが、当初の構想にあった電力省力化のための吊り天井は、屋根の耐荷重が不足するので、見直しが必要である。

特別会計・事業会計

予算常任委員会に付託された令和7年度能勢町特別会計および、事業会計予算についてについて、3月18日に委員会を開催し予算内容を審議しました。賛否が分かれた案件は能勢町国民健康保険特別会計のみです。主な質疑応答は、次のとおりです。

◇令和7年度能勢町国民健康保険特別会計予算

賛 否										原案可決
平田 要	井上加奈子	難波希美子	長尾 義和	西河 巧	岡本ひとし	中西 顕治	中植 昭彦	奥 久明	太田 祐介	森田 則子
○	○	○	○	○	○	×	○	欠席	○	委員長

注:委員長は採決に加わりません。

■能勢町国民健康保険特別会計

- 問** 健康増進事業が全て廃止されたが、その経過は。
- 答** 健康増進支援事業は、令和2年度から1人1万円の給付で始まり、令和5年度からは1人1万5,000円を給付していた。この事業は基金を活用して進めていたが、国保の繰越金を含めても財源が2億円を切る状況となったため、財政状況を踏まえて、令和6年度で終了することとした。
- 問** 「のせけん」という健康づくり事業は一般会計で実施されるが、国保の基金から一般会計へ繰り出しが行われる。この事業の位置づけは。
- 答** 「のせけん」は40歳以上の全町民を対象とした事業で、国保や後期高齢者以外も含まれるため、一般会計で実施している。
- ただし、国保に該当する人に関する部分については保険者（能勢町）が行う保健事業と位置づけ、国保会計から一般会計へ必要な費用を繰り出している。

■能勢町後期高齢者医療特別会計

- 問** 「のせけん」の事業費として、後期高齢者医療特別会計からの入金があるが、その仕組みはどうなっているか。
- 答** 後期高齢者医療制度からの受託収入については、特別会計でも一般会計でも受け入れ可能であるため、今回は広域連合からの負担金として一般会計で計上している。

■能勢町介護保険特別会計

- 問** 看護小規模多機能型居宅介護の施設の利用状況は。
- 答** 登録定員は29名であるが、現在は定員に満たない状況である。利用者の確保が難しく、現時点ではまだ採算ベースに乗っていないという報告を受けている。施設運営の状況を注視しており、事業者と情報を共有している。今後は利用促進や周知の方法、必要な支援の在り方について検討していく方針である。

■能勢町国民健康保険診療所特別会計

- 問** 前年度に予定されていた電子カルテのシステムが購入に至らず、今予算での購入を予定されている。手続上の不備により購入できず、今年度に再度手続きを行うとのことだが、具体的にどのような手続上の問題があったのか。
- 答** 電子カルテシステムの導入にあたり、交付金の対象となる支出期間の要件を把握していなかったことが一因である。昨年の秋頃までに契約及び支出を完了させる必要があったが、交付金申請に間に合うようなスケジュール管理がされておらず、結果として支出が当該年度に間に合わず、交付金を受けられなかったものである。

■能勢町下水道事業会計

- 問** 収益的な改善方法について、特にし尿の処理を下水道で行うことに関して、どのような収入の見込みがあるのか。
- 答** し尿の処理を下水道で行うことで、令和7年度はし尿の処理を9月から始め、7か月間で約370万円の収入が見込まれる。
- 令和8年度からは12か月分となり、630万円の収入増が見込まれている。
- 問** 収入の増加や経費削減で余裕ができるが、料金体系の見直しについてどう考えているか。
- 答** 料金で赤字を全て賄うことは難しいが、大口の接続や広域化の視点で収入を増やすことに注力する。

令和7年 能勢町議会2月会議報告

2月3日 開催

2月会議には、補正予算1件が提出され、賛成全員により可決されました。

◇令和6年度能勢町一般会計補正予算(第6号)

補正額 9,758万円

(主なもの)

・価格高騰重点支援給付金	4,830万円
・物価高騰対策商品券交付金	3,150万円
・学校学用品等負担金	430万円
・災害復旧工事(農地災害)	450万円
・災害復旧工事(道路橋梁災害)	100万円

令和7年 能勢町議会3月定例会議報告

3月4・5・6・10・21日 開催

3月定例会議には、条例14件、補正予算4件、当初予算6件、決算1件、人事2件、議会議案3件の合計30件が提出されました。

賛否が分かれた案件は4件で、その他の案件は賛成全員で可決されました。

□ 条例 □

- ◇能勢町事務分掌条例の一部を改正する条例について
- ◇議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について
- ◇特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- ◇一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- ◇職員の勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について
- ◇刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
- ◇能勢町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について
- ◇能勢町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について
- ◇能勢町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- ◇能勢町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- ◇能勢町都市計画法施行条例の一部を改正する条例について

賛 否

原案可決

平田 要	井上加奈子	難波希美子	長尾 義和	西河 巧	森田 則子	岡本ひとし	中西 顕治	中植 昭彦	奥 久明	太田 祐介	大西 則宏
○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

注:議長は採決に加わりません。

- ◇能勢町下水道条例の一部を改正する条例について
- ◇特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
- ◇能勢町国民健康保険条例の一部を改正する条例について

□ 補正予算 □

◇令和6年度能勢町一般会計補正予算(第7号)

補正額

△2億3,694万円 (決算見込みによる減額補正等)

◇令和6年度能勢町国民健康保険特別会計補正予算(第5号)

補正額 3,145万円 (一般被保険者療養給付の実績に伴う補正等)

◇令和6年度能勢町介護保険特別会計補正予算(第3号)

補正額 122万円 (制度改正に伴う介護保険事務システム改修費の補正等)

◇令和6年度能勢町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第3号)

補正額 △520万円 (医療器具購入費の減額補正等)

□ 当初予算 □

◇令和7年度能勢町一般会計予算

賛 否

原案可決

平田 要	井上加奈子	難波希美子	長尾 義和	西河 巧	森田 則子	岡本ひとし	中西 顕治	中植 昭彦	奥 久明	太田 祐介	大西 則宏
○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

注:議長は採決に加わりません。

【反対討論】 難波 希美子

令和7年度の予算について、大きく3点について疑念を持ち、反対する。

1. 産業立地推進事業。能勢町の一番の魅力は「自然環境」である。地権者や営農者全員と話が来ていない状態で、事を進めていくこの事業に疑問を抱く。また、企業誘致ではなく農業支援の強化をしていくべきと考える。
2. 住民意見の施策反映。公共施設の利用や再編で住民との意見交換をするべきだったのではない。
3. 縦割り行政。庁内の縦割りの壁を破り、横断的な発想でハード面、ソフト面共に、町全体としての事業の進め方ができていない。

【賛成討論】 井上 加奈子

主要事業の継続性を確保した堅実な予算だと評価し、着実な執行が必要であると考え賛成するが、公約に対する住民の期待に応えていない。下記の課題について対策を要望する。

旧校体育施設の一般利用中止・放課後児童クラブの定員超過・子育て施策の人材確保・新生涯学習施設や憩いの広場の計画・高校生の通学費支援。

町政の基本は適切な手続きを踏み、結果だけではなく、プロセスを住民に示すことであるが、プロセスが不透明であり説明不足が課題である。今後、課題を真摯に受け止め、住民目線の町政を進めることを強く期待する。

【賛成討論】 平田 要

厳しい財政状況の中で精査され、保健福祉センター改修事業、旧田尻小学校解体撤去事業、旧庁舎跡地整備事業等で前年度比14.68%の増となっているが、住民福祉の向上はもとより人口減少に対応し、求められる様々な要請と課題に対応し、町の魅力と活力を高め、住み続けたい町の実現をめざす予算編成と考える。

中には施策に対し予算配分が弱く感じられるところもあるが各事業計画が住民の期待に応えられる確に執行されることを望む。後に、まちづくり協議会を設立し企業誘致にむけ進めるにあたり、住民への丁寧な説明と対応を求めている。

【賛成討論】 長尾 義和

当初予算は、町長の町政運営方針や公約等をどのように実現されるのかを示す重要なものである。予算の大部分は前町政の施策が踏襲されており、行政の継続性という点では評価できる。しかし、町長の公約等に基づく具体的な施策が予算化されていない点を懸念する。特に議論した「ササユリの再生」は、町政運営方針と予算が連携されておらず、担当部署とも施策の共有ができていない状況である。

住民は『今を変える勇気』、『能勢を動かそう』という町長の姿勢に期待を寄せている。今後、公約等を速やかに具現化されることを期待して賛成する。

【賛成討論】 太田 祐介

新町長による初めての予算となり厳しい財源の中、生活の基盤となる事業を継続できるものとする。しかし、これからのまちづくりのための投資部分がやはりものたりない。特に新たな時代に柔軟に対応できる人材の育成と確保が重要であると考えます。

まちづくりには行政だけではなく民間や住民が責任をもつ必要がある。そのためにも各種方針や計画の情報を広く知らせることを取り組んでいただきたいと思う。

これからも引き続き行財政改革に本気でチャレンジすることに期待を込めて賛成の討論とする。

◇令和7年度能勢町国民健康保険特別会計予算

賛 否

原案可決

平田 要	井上加奈子	難波希美子	長尾 義和	西河 巧	太田 祐介	岡本ひとし	中西 顕治	中植 昭彦	奥 久明	森田 則子	大西 則宏
○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議長

注:議長は採決に加わりません。

【反対討論】 中西 顕治

大阪府統一の施行により、能勢町の国民健康保険料は府の告示に従う形となり、町の裁量が失われた。その結果、府内では統一料金となるものの、全国的に見て高額な水準である。令和7年度の保険料率は前年度より低いものの、もともと高すぎる設定であり、依然として高額である。さらに、令和2年から実施してきた健康増進事業が終了することも問題である。この事業は保険料の還元の役割も担っており、継続すべきである。安定的な運営を行うためには、国に公費負担の大幅引き上げを強く求めることを求めて反対する。

◇令和7年度能勢町後期高齢者医療特別会計予算

◇令和7年度能勢町介護保険特別会計予算

◇令和7年度能勢町国民健康保険診療所特別会計予算

◇令和7年度能勢町下水道事業会計予算

□ 決 算 □

◇令和6年度能勢町歌垣財産区特別会計歳入歳出決算認定について

□ 人 事 □

◇教育長の任命につき同意を求めることについて

教 育 長 辻 新 造 氏

◇教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

教育委員会委員 阪東 なつ子 氏

□ 議 会 案 件 □

◇能勢町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例について

◇能勢町議会委員会条例の一部を改正する条例について

◇選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書について

賛 否

否決

平田 要	井上加奈子	難波希美子	長尾 義和	西河 巧	太田 祐介	岡本ひとし	中西 顕治	中植 昭彦	奥 久明	森田 則子	大西 則宏
×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議長

注:議長は採決に加わりません。

【提案説明】 難波 希美子

民法750条は夫婦同姓を義務付けている。多くの女性がアイデンティティの喪失や過去に築いた信用や評価を損なったりしている。これらは人権問題である。能勢町議会として、国に対し、民法を改正し選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書を提出することを提案する。

【反対討論】 平田 要

法務省は、婚姻制度や家族の在り方と関係する重要な問題で、国民の理解のもと進められるべきものと示されている。最高裁では「制度のあり方は国会で議論され、判断されるべき事柄にほかならない」とされている。

国においては、この3月に結婚による改姓での不利益を解消する動きもあり注視されるところである。また、住民の方におかれても「選択的夫婦別姓制度」には様々な考えがあることでもあり、議会が「選択的夫婦別姓制度」を導入するよう強く求める、一方向的にまとめられた意見書を、国に提出すべきではないと考える。

【賛成討論】 中西 顕治

本制度は同姓を望む人の選択を尊重しつつ、姓の変更による不利益を防ぐものである。現行制度では、仕事やアイデンティティに影響が出る場合があり、国連からも改善を求める勧告が出されている。国際的にも別姓を選べる国が主流であり、日本の実態にも合致する。家族の絆は姓ではなく関係性によって築かれるため、制度導入が家族の一体感を損なうとは限らない。

多様な生き方を尊重するため、本意見書に賛成する。

予算常任委員会報告

3月7日 開催

委員長 森田 則子

予算常任委員会に付託された「令和6年度の能勢町一般会計補正予算(第7号)」について、委員会を開催し予算内容を審議しました。討論はなく、採決の結果、賛成全員で可決すべきものと決定しました。

主な質疑応答は、次のとおりです。

問 ふるさと応援寄附金3500万円の減額の要因と今後の対応を問う。

答 人気商品のワッフルの種類が変更になったことが影響している。返礼品は、町内商品に限定されているので復活は難しい。引き続き新規事業者の開拓や、返礼品の追加などに取り組む。また、寄附者へはお礼状やチラシで周知を図っていく。

問 保健体育総務費のスポーツ大会負担金51万円が減額になった理由を問う。

答 スポーツ大会の負担金を用意していたが、今年、グランドゴルフ大会を実施することになり、その費用を体育連盟の繰越金でまかなったことにより、負担金は減額となった。

問 財政調整基金の繰入金が1億5000万円の減額になった要因は何か。

答 水道企業団への累積赤字分で、その相当額を財政調整基金から繰り入れて、財源の措置をしてきた。その歳出の負担金が減額になるので、繰入金も減額処理をした。

問 水道事業費の大阪広域水道企業団負担金1億5500万円の減額について、経過も含めた説明を求める。

答 負担金の一つである高料金対策に対する経費は交付税対象となっているが、交付税の制度が変わったことから、企業団と協議し、本町の財政への影響を踏まえ、負担金の累積赤字分については企業団の方で負担することになり減額を行った。

問 集落支援業務委託料の減額について、また集落支援員の1年間の成果を踏まえた今後の活動について問う。

答 集落支援員の業務としては、移住関係の取組みと、能勢栗振興の2つの活動をしている。活動経費を年間165万4000円見積っていたが、100万円減額になった。成果を取りまとめているが、1年間の予定で雇用していたので、次年度は雇用する予定はない。

議会改革特別委員会報告

2月20日 開催

委員長 森田 則子

第12回 議会改革特別委員会

「議会基本条例の検証について」を議題とし、令和5年10月24日開催の委員会で意見交換した「議員間討議」について、第2作業部会からその後の調査研究等の報告を受けた。

これまで、議会基本条例の検証から取り組むべき課題解決に向けて、3つの作業部会を設け、真摯な議論を積み重ね、調査・研究を行ってきた。

第1作業部会では、議員定数及び議員報酬などについて

第2作業部会では、住民との意見交換、議員間討議について

第3作業部会では、議会のICT化について

その結果、議会のあり方、課題等が明確になり、今後の道筋を確認した。

まずは、試行的に3月定例会議の予算常任委員会の一般会計審議終了後、採決の前に議員間討議の場を設け、意見の共有を行うこととした。今回で今期最後の議会改革特別委員会となるため、作業部会ごとに総括的に取りまとめた報告書の提出をもって審議を終了する。



長尾 義和

令和7年度の町政運営から

町政運営に影響を及ぼす

解決に取り組む。

人口減少対策は重要であ

【問】 昨年、町長は7年度

難になり、自主財源の確
保などに影響が生じる。

る。人口減少を抑え、交流、

予算で交通対策、空き家

【問】 将来、道の駅はどう

関係人口を増加させてい

う指示したと言われている

【答】 観光や防災の観点、

くことが、持続可能な町

政運営、魅力あるまちづ

【答】 観光や防災の観点、

くりに関わり、多くの住

民の利便性向上につな

【答】 乗合タクシーは、住

民は期待している。

るよう4月から町全域を

【答】 乗合タクシーは、住

令和7年度の町政運営、

運行区域とする予定であ

【答】 乗合タクシーは、住

予算編成を問う。

【問】 予算の特筆すべき点、

【答】 乗合タクシーは、住

重点施策は何か。

【問】 本年、国勢調査が実

【答】 乗合タクシーは、住

【答】 「住み続けられる町、

対策計画の改定を行う。

【答】 乗合タクシーは、住

移り住みたい町」を実現

【問】 本年、国勢調査が実

【答】 乗合タクシーは、住

することである。その第

【問】 本年、国勢調査が実

【答】 乗合タクシーは、住

一步として、プロモー

【問】 本年、国勢調査が実

【答】 乗合タクシーは、住

ション担当部署を設置

【問】 本年、国勢調査が実

【答】 乗合タクシーは、住

し、町への誇りや愛着を

【問】 本年、国勢調査が実

【答】 乗合タクシーは、住

感じられるよう周知す

【問】 本年、国勢調査が実

【答】 乗合タクシーは、住

る。また、教育環境整備

【問】 本年、国勢調査が実

【答】 乗合タクシーは、住

や教育内容の充実、空き

【問】 本年、国勢調査が実

【答】 乗合タクシーは、住

家の利活用に向け、課題

【問】 本年、国勢調査が実

【答】 乗合タクシーは、住



道の駅 能勢(くりの郷)

一般質問



平田 要

アライグマ被害防止報奨金制度を

アライグマは、平成17年

【答】 令和4年度211頭、令

【答】 捕獲者に対して町は

6月施行の外来生物法で

【答】 令和4年度211頭、令

【答】 捕獲者に対して町は

特定外来生物に指定され、

【答】 令和4年度211頭、令

【答】 捕獲者に対して町は

既に捕獲活動が行われて

【答】 令和4年度211頭、令

【答】 捕獲者に対して町は

いる。農作物等の被害を

【答】 令和4年度211頭、令

【答】 捕獲者に対して町は

抑え込むには個体数を減

【答】 令和4年度211頭、令

【答】 捕獲者に対して町は

少させるしかない。

【答】 令和4年度211頭、令

【答】 捕獲者に対して町は

【問】 農作物の被害状況に

【答】 令和4年度211頭、令

【答】 捕獲者に対して町は

ついて問う。

【答】 令和4年度211頭、令

【答】 捕獲者に対して町は

【答】 令和5年度、被害面

【答】 令和4年度211頭、令

【答】 捕獲者に対して町は

積は1.43haで、被害金額約

【答】 令和4年度211頭、令

【答】 捕獲者に対して町は

700万円となっている。

【答】 令和4年度211頭、令

【答】 捕獲者に対して町は

【問】 アライグマの捕獲の

【答】 令和4年度211頭、令

【答】 捕獲者に対して町は

現状について問う。

【答】 令和4年度211頭、令

【答】 捕獲者に対して町は

【答】 被害を受けている住

【答】 令和4年度211頭、令

【答】 捕獲者に対して町は

民からの申請により捕獲

【答】 令和4年度211頭、令

【答】 捕獲者に対して町は

檻を貸し出し、捕獲され

【答】 令和4年度211頭、令

【答】 捕獲者に対して町は

た場合は町の職員が引取

【答】 令和4年度211頭、令

【答】 捕獲者に対して町は

りに出向き処理してい

【答】 令和4年度211頭、令

【答】 捕獲者に対して町は

る。

【答】 令和4年度211頭、令

【答】 捕獲者に対して町は

【問】 捕獲個体の年度別の

【答】 令和4年度211頭、令

【答】 捕獲者に対して町は





岡本 ひとし

① 教育委員会の現状 ② 人工透析患者の生活支援

教育委員会の現状を問う

問 教育長の長期不在をなぜ回避できないのか。

また議会への説明責任を放棄しているのではないかと問う。

答 重要な職務であり、適任者が見つからず苦慮したが、本定例会で任命する。

問 教育長不在について、教育委員からの助言等はなかったのか問う。

答 教育委員から助言は受けていない。

問 教育長不在により、職員・学校現場の教職員・保護者へ説明もないが、再度問う。

答 非常に心配をかけ、お詫び申し上げたい。人選に人選を重ねた決果

この時期になり、理解いただきたい。

問 長期間の不在は町政運営（教育行政）に問題が生じる。今後は肝に銘じることを申し入れる。

答 指摘のとおりである。今後は空白ができないよう努めていきたい。

人工透析患者の支援

問 本町の人口透析患者数を問う。

答 現在の治療患者は36名と認識している。

問 患者会からの要望について問う。

答 大阪府腎臓病患者協議会と兵庫県腎友会から毎年要望書をいただき文書で回答している。

問 要望書の手交時には町長自ら受け取ること

が、本町の患者会への姿勢になるが、今後の対応を問う。

答 指摘のとおり、対応する。



一般質問



難波 希美子

宿野四区・大里・柏原地区の企業誘致

問 当該地区の地権者と借りて営農している人の数、面談割合、意見を問う。

答 地権者は76名で83%が面談済み。借りて営農している人は9名で面談

0%。地権者の農地継続希望は10%、共同で売却や賃貸希望が80%である。

問 当該地区は床上浸水域である。対応は。

答 関係者と協議し決めていく。

問 市街化調整区域を市街化区域に変更し、また市街化調整区域に戻すことは可能か。

答 不可能である。

運転免許証返納者支援

問 運転免許証返納者への支援策は。

答 近年は年30～50人返納者がいる。公共交通網の構築に努めている。

問 乗合タクシーの利用者の年齢層を問う。

答 ほぼ高齢者である。

問 運転免許証返納者支援策として乗合タクシーの券を配付してはどうか。

答 財源に余裕がないので今は考えられない。



ごみ減量

問 ごみ減量は分別が必要。分別が正しくされているか可燃ごみの組成調査をしてはどうか。

答 10年ごとのごみ基本計画策定のために実施する予定である。

問 廃油を資源として活用をしてはどうか。

答 他自治体の取組みや住民負担等を考慮して検討していく。





中西 顕治

- ① 国民健康保険・健康増進事業
- ② 大阪万博への校外学習対応
- ③ 学校給食の地産地消に向けた施策

問 国保の健康増進事業が終了する理由と、今後の基金活用方針を問う。

答 事業はコロナや物価高に対応するため始まったが、情勢の変化と財政状況により本年度で終了する。

問 基金は本来、被保険者に返還すべき保険料が積み上がったもので、町の財産ではないのでは。

答 保険料は医療費や物価を考慮して算定しており、還元もされてきた。基金は令和7年度からの「健康づくり支援事業」の財源として、一般会計に繰り出して活用する。

問 府内では万博への校外学習参加を見送る自治体もあるが、能勢町の判断・対応を問う。

答 能勢ささゆり学園では、4月下旬から6月上旬にかけて全学年で校外学習として参加する予定。教員も事前に現地の下見を行い、安全面等を確認する。

問 他自治体不参加を決定する中、町にはそれを上回る説明があったのか。

答 情報は随時共有しており、校長会等でも情報提供している。町としても下見を行い、参加の意義を重視して決定した。

問 学校給食の地産地消を進めるにあたり、供給側、学校側、それぞれの課題をどう認識しているか。

答 物産センターから一部野菜を供給しているが、品質・数量の安定が課題。また学校側では学校給食法や衛生管理基準があり、町独自の納入基準もある。

問 基準を緩めた場合、想定される問題は。

答 委託費用の増加など、財政面の課題も含めて関係機関と協議が必要。



一般質問



井上 加奈子

- ① 子どもの意見を聴くしくみづくり
- ② 高校生への支援
- ③ 旧小中学校の体育館利用

問 子どもの意見のどのように聴取するのか。

答 国のガイドラインや近隣自治体の事例を調査研究し、実施する。

新のせ保育所

答 実施詳細設計までに意見を聞く機会を設けた。

憩いの広場

答 これまでの議論を踏まえ、遊具のことも含めて町が考えていく段階である。

新生涯学習施設

答 まず大人の考えを固め、子どもにとってもどうあるべきか、今後検討する。



問 高校生の支援についての活動の意向調査等、対応が必要ではないか。

答 交通費の面で、どんな支援が良いか、現在検討している。

問 高校生の不登校に対する町の支援を問う。

答 高校進学後は在籍校等に公共団体ではないがに相談窓口があり、本町に相談に来られたら関係機関につないでいく。府も重点課題としており、今後意見交換する。

問 令和8年度に旧天王小跡地に開校予定の通信制高校と連携し、支援を強化してはどうか。

答 意見として承る。

問 旧校の体育施設利用中止を理解のないまま進めると、行政への信頼を失うリスクがある。今後

の活動の意向調査等、対応が必要ではないか。

答 相談・苦情に対して、経過説明している。今後はB&Gを活用し、整った施設にしていきたい。

問 登録団体は体育連盟等の公共団体ではないが多くの子どもが参加している。今後これらの団体とどう繋がっていくのか。

答 教育委員会としては住民や子どもにも不安、混乱を招いていると感じている。何が最善の解決策か、関係機関と協議の上、進めていく必要があると考えており、新しい教育長と教育委員と共にこの件について議論していきたい。

能勢町議会構成表

(令和7年5月12日現在)

議 長		平 田 要			副 議 長			井 上 加奈子			
常 任 委 員 会	総 務 民 生 6人	◎難 波 希美子 中 西 顕 治	○川 口 省 子 八 木 修	岡 本 ひとし 井 上 加奈子							
	環 境 教 育 6人	◎森 田 則 子 大 西 則 宏	○岡 田 康 司 畠 中 勝 身	中 植 昭 彦 平 田 要							
	予 算 11人	◎井 上 加奈子 川 口 省 子 岡 田 康 司 難 波 希美子	○中 西 顕 治 中 植 中 勝 身 畠 中 修	森 田 則 子 大 西 本 ひとし							
	決 算 10人	◎井 上 加奈子 川 口 省 子 畠 中 勝 身 八 木 修	○中 西 顕 治 中 植 本 ひとし	森 岡 難 田 波 則 子 田 康 司 波 希美子							
議 会 運 営 委 員 会 5人		◎中 西 顕 治 大 西 則 宏	○中 植 昭 彦 難 波 希美子	森 田 則 子							
広 報 特 別 委 員 会 5人		◎畠 中 勝 身 岡 田 康 司	○川 口 省 子 難 波 希美子	森 田 則 子							
監 査 委 員		大 西 則 宏									
豊能郡環境施設組合 議会議員 5人		川 口 省 子 岡 本 ひとし	大 西 則 宏 中 西 顕 治	畠 中 勝 身							
猪名川上流広域ごみ処理 施設組合議会議員 3人		森 田 則 子	難 波 希美子	平 田 要							
都市計画審議会委員 5人以内		大 西 則 宏	岡 本 ひとし	中 西 顕 治							

◎:委員長 ○:副委員長 ※委員は議席順、数字は定数

編集後記

みどり溢れる季節に議会がスタートし、広報特別委員会も新メンバーとなりました。
「議会だより」を通して、町民のみなさまに、より身近な議会・市政の様子などをお伝えしてまいります。
議員一同、魅力ある町の活性化のため全力で取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

広報特別委員会

委員長 畠中 勝身 副委員長 川口 省子
委員 森田 則子 岡田 康司 難波 希美子

発行/能勢町議会 発行責任者/平 田 要 編集/広報特別委員会 発行日/令和7年6月1日
〒563-0392 大阪府豊能郡能勢町宿野28番地
TEL(072)734-0151 FAX(072)734-2460
ホームページアドレス <http://www.town.nose.osaka.jp>

能勢町議会

